

第 15 回 札幌市河川環境推進会議

日時：令和 6 年 1 月 29 日（月）13:30～16:30

場所：札幌市下水道河川局庁舎 1 階 大会議室 B

会議次第

1 開会式

- 1) 開会挨拶
- 2) 事務局紹介
- 3) 会議概要

2 議事

議題 1 情報発信・普及啓発事業

議題 2 河川環境整備事業

3 総括

4 閉会

概要は以下のとおり

●事務局からの報告

議題1 情報発信・普及啓発事業

以下、今年度の実績や今後の検討などについて報告

①情報発信

出前講座、コラム「川のすがた」、SNSの活用 等

②普及啓発

鴨々川いきもの観察会、山部川いきもの観察会、川の観察会サポート、
創成川・鴨々川川めぐりウォーキングツアー、川の学習パネル展、河川事業パネル展 等

③今後の検討

サクシュ琴似川、桑園新川

議題2 河川環境整備事業

以下、今年度の実績や今後の検討などについて報告

①調査結果の見える化

事業概要、今後の進め方 等

②盤溪川

事業概要、盤溪小学校児童とのワークショップ内容、各区間の整備案、今後の進め方 等

③上追分川

事業概要、地元へのヒアリング結果、各区間の整備案、今後の進め方 等

●当日の様子



●委員からの主な意見

議題1 情報発信・普及啓発事業

- パネル展：パネルのみならず動画も放映するのがよい。
- ：パネル1枚あたりの情報量が多いと、遠目から見ても惹かれない可能性があるため、パネルデザインの精査が必要。
- ウォーキングツアー：イベント回数を増やすべき。専門家ガイドのツアー回数は増やせずとも、例えばイベント参加者をボランティアガイドとして迎えて実施すれば、回数を増やせるのでは。
- ：サクシュ琴似川を題材にしたツアーを行う場合、大学構内を歩く際には何の団体か周囲にPRするため、例えば参加者にバッジ等を身につけてもらうのはどうか。PRのみならず、参加記念品にもなりうる。

議題2 河川環境整備事業

- 調査結果の見える化：もし将来、市民へマップを公開する場合は、その河川の管理者情報(国・北海道・札幌市)も掲載した方がよい。
- 盤溪川：河道内に水制工を設置する場合、併せて生物生息環境向上も目指すなら、角ばった碎石ではなく現地発生材など自然の丸みを帯びた石材を使用するのがよい。
- ：右岸のみならず、左岸からも河川に親しめる整備検討を。
 - ：河川への親しみを増やす取り組みは大切である一方で、安全面への配慮も大切。
- 上追分川：環境整備検討にあたっては、近隣小学校児童のみならず、その親や周辺住民など地元からの意見聴取も大切。
- ：環境整備における事業範囲や目的を明確にし、手をかける区間・かけない区間を判断することが必要。
 - ：魚道延長を長くすると、落差による移動障害は解消できる一方で、魚類が産卵可能な河床は減ってしまう。バランスの検討を。